

ほのかの里 桜丘
(別紙4-1)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0175800259 | | |
| 法人名 | 株式会社 クオス | | |
| 事業所名 | ほのかの里 桜丘 | | |
| 所在地 | 夕張郡栗山町桜丘1丁目80番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成30年3月10日 | 評価結果市町村受理日 | 平成30年4月13日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail.2017.022_kani=true&JigyosyoCd=0175800259-00&PrefCd=01&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------|
| 評価機関名 | 株式会社 サンシャイン |
| 所在地 | 札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F |
| 訪問調査日 | 平成30年3月24日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者が自尊心やプライバシーを維持しながら本来その方が持っている残存機能を生かし「その人らしく」生活を送る事が出来る様に努めています。又は四季に応じてホーム主催や地域の方が参加できる行事に地域の方が参加して頂ける事で地域の人達からも信頼されるホームを目標にしています。隣にデイサービスに併設されており時々交流を持っています。又災害時や緊急時に対しての支援体制が整備されています。又、職員は試行錯誤を重ねながら気付きや学びをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

JR栗山駅から車で5分程度、栗山公園近くの住宅地にある平屋建て1ユニットのグループホームである。デイサービス棟が隣接し、南面の庭には東屋が設置され、庭や畑もある。ゆっくりと過ごせる居間があり、全体が明るく清潔で、トイレや浴室も使いやすく作られている。利用者の作品や写真、季節の装飾が飾られ、温かな雰囲気であり、利用者の友人や家族が気軽に遊びに来ている。隣接する同一法人のデイサービスで催し物がある場合は、利用者と一緒に隣に出かけて楽しんでいる。地域との関りでは、散歩の際に近所の方と挨拶を交わしたり、法人と合同の夏祭りに多数の住民の参加を得て交流している。町役場とも運営推進会議や町主催の研修で密に情報交換ができています。外出支援の面では、栗山公園での花見などの年間行事の他、最近は通院での外出が多くなり、通院帰りに利用者にとっての懐かしい風景を楽しんでいる。食事の面では、栄養バランスのよく、彩りの豊富な美味しい食事が提供されている。職員は利用者に優しい言葉かけで穏やかに接している。明るくゆったりとした環境のもと、安心して過ごすことのできるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|--------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者および職員は理念の下、ゆったりと楽しく笑顔で利用者様に寄り添い、暮らしに喜びや自信を持って頂くように実践する。 | 4項目からなる理念の中に「いつも笑顔で、地域とともに」という文言があり、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念としている。理念を共用部分に掲示し、普段から内容を確認している。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 天気の良い時に散歩している際に地域の方が挨拶以外に声を掛けて頂いている。 | 利用者が散歩する際に近所の方と挨拶を交わしている。法人合同の夏祭りに利用者の他、20名ほどの地域の方が参加し交流している。隣接するデイサービスに楽器演奏のボランティアが来訪する際に出かけている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進委員会を通じて認知症に対する知識や対応に理解を深めている。又認知症に対する研修を地域の方に参加を促している。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 今年度は6回の開催を行っており、各管理者が利用者様の状況を報告し、議題も専門職の方に依頼して協議することで、実践への振り返りにもなり運営に活かされております | 運営推進会議を年6回開催し、町職員、町内会関係者、法人関係者などが参加しているが、家族の参加は年1回程度である。感染症、防災などを話し合っているが、最近はテーマが不足している。 | 家族に引き続き運営推進会議への参加を呼びかけるとともに、会議のテーマを計画的に設定し、より充実した話し合いの場となることを期待したい。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 介護計画に必要な書類申請を窓口に出したり、書類上の確認などで相談したり、連携をしております。 | 運営推進会議に町職員の参加があり、情報提供を受けている。町主催の介護従事者研修に事業所職員が参加し、情報交換している。町に書類を提出する際も相談している。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 不適切の対応や場面に遭遇した際はその都度、話し合いや行為に対して再度確認しながら職員同士で情報を共有している。 | 身体拘束は現在行われておらず、身体拘束ゼロへの手引きを用意し定期的に勉強会を行っている。事故防止のため過去にやむを得ず身体拘束を行った際は、家族と相談の上、同意書を得ている。玄関は日中施錠せず、外出があればセンサーで分かるようにしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待につながる危険性のあるケアについて、職員の間で話し合い、注意し予防に努めております。 | | |

ほのかの里 桜丘

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|--|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 役所が開催する研修に定期的に参加させて頂き、資料を通じて職員同士で情報を共有している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 代表者、運営者はご本人、ご家族と面談して契約説明をし、納得した上同意書等の署名、捺印を頂いております | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご本人、ご家族の意見、要望、不満などがあれば、その都度記録している。入居者様に何か有ればその都度ご連絡している。又家族が来訪した際も訪ねやすい対応を心掛けております。 | 家族が平均して月2～3回来訪し、その際に意見を聞いている。家族からの意見をメモに残し、職員間で共有している。また、利用者の個々の写真や様子を載せたお便りを毎月家族に送付している。 | 家族からの意見や相談内容を継続的に共有できるよう、利用者ごとに「家族意見ノート」等にして整理することを期待したい。 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員会議の議題の他に職員の要望や意見を聞いて、集約し代表者に報告しております。 | 3か月に1回程度、職員会議を行っている。会議以外の場でも職員はその都度に意見交換している。管理者は随時、職員の相談に乗っている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は環境整備を整え、安心、安全に働ける職場づくりに努めております | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員同士の話し合いについては定期的又は問題が起きた時に開催し、解決に努めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修や内部研修に参加することで交流を図りケアの質を高めております | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初期の段階でご本人の話に傾聴し出来る限りご本人の意向に沿うように対応してきました。お互いが馴染みの関係にあるように寄り添っていききたい | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 初期の段階でご家族に不安や困りごとがないか話を聞いておりました。何かあれば速やかに連絡しお話しすることで安心するような対応を心掛けております | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 意向、要望に沿えるように、支援内容を考え、早く馴染める環境になるように努めている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共に暮らすことで、出来ることは、お手伝いしていただいたり、話に傾聴することで、安心されている。行事なども一緒に楽しんでおります | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の来訪時はご本人の話を傾聴することで、落ち着いたり、その姿勢に職員も学ぶ事もあります。共に支え合う関係づくりを築いていきたい | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族、ご兄弟など遠方からの来訪もあり、賑やかで楽しい時間を過ごされている。お墓参りやお正月を家族と外出する方もおります。 | 3名ほどの利用者に対して地元の友人などが訪ねて来ており、歓迎している。2名の方は馴染みの美容院を利用し、事業所で送迎している。通院帰りやドライブの際に、利用者が住んでいた付近を通ることもある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 心身の状態や気分、感情で毎日が違うので、職員は日々情報を共有し注意深くみまもることに心掛けております | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後も相談を頂いた時はできる限り支援できるように心がけております | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 当施設には要介護1～5までの方が入所しておりADL、認知機能についても様々ですが思いこみの介護にならない様御一人が求めている本当に必要なサービスを心掛けております。 | 半分以上の利用者が言葉で思いや意向を表現でき、難しい方の場合も表情や問いかけの反応などから把握している。基本情報、課題分析概要、アセスメント表を定期更新している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | フエースシート及び家族様に入所前に情報を頂き新しい環境で安心できる様努めております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 共にできる事、又個々に出来る事を日々の生活の中で声掛けし、手伝って頂いています。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者の対応を職員間で共有し暴言や暴力のある方については特に話し合う機会を設けています。 | 3か月毎にモニタリングを行い、カンファレンスを経て3か月または6か月で介護計画を更新している。日々の介護経過記録は、プランを参照し目標の実施状況をチェックしながら記録を行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日常の生活から生まれる変化等を記録してカンファレンスで話し合い介護計画に取り入れております。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 個性に合ったADL、認知機能等取り組んで行なっていきたいと考えてます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 冬期間の外出は難しいですが夏場は特に町内で行なわれるイベント等参加していきたいです。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 町内の総合病院又は整形外科、眼科等は利用者に必要な医療機関で利用しています。又かかりつけ医が町外の方がおり、その方は家族が対応しております。 | 往診は受けておらず協力医療機関である日赤病院や、個々のかかりつけ医への通院を事業所で支援している。受診内容を個人ごとの受診記録に記載し、共有している。 | |

ほのかの里 桜丘

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|----------------------------------|------|--|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師が定期的に訪れております。状態の変化がある方はその都度、相談しており、アドバイスを頂いております | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時にダメージが最小限に留まるように病院関係者と情報交換を行っております。又、早期退院に向けて、情報共有に努め、話し合いを行っております。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居契約時に「重度化対応、終末期ケア対応指針」説明しご家族、ご本人より同意を得ております。看取りの経験がありますが、職員は勉強会や研修会に参加してよりよい対応ができるようにしたい | 利用開始時に「重度化対応・終末期ケア対応指針」に沿って説明し、同意を得ている。最近では医療機関との連携による看取り対応が難しくなり、事業所での看取りは行っていないが、利用者や家族にその旨の理解を得ている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 日ごろから、入居者の身体状態を把握し職員同士話しあっております。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年に2回の避難訓練時は日中、夜間想定で行っている。施設内での日常的な場面で災害時を想定したシミュレーションを今後実施していきたい | 年2回の昼夜を想定した避難訓練を消防の協力を得て実施しているが、地域住民の参加は得られていない。災害時に備蓄品を用意している。職員の救急救命訓練の受講は十分といえない。 | 避難訓練に地域住民の参加を得て、協力体制を築くことを期待したい。また、職員の定期的な救急救命訓練の受講と、地震等の対応に向けた職員間の話し合いや防災マニュアルの確認を期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 基本理念をケアに反映させ、さりげないケアを心がけております。ケアの更新情報は掲示板を通じて反映しています。 | ミーティングでは接遇について話し合い共有しているが、不適切な場合はその都度注意して再確認している。申し送りは事務所で行っている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 普段の生活の場面の中で少しでも自己選択を促しながら自己決定に繋げています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調や、気分を把握しその方の意見を尊重し過ごしていただいております | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 髪型や服装等の身だしなみはご本人に確認しながらさりげなく支援しております。こだわりなどもご本人の気持ちを尊重しております | | |

ほのかの里 桜丘

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 皆で食べる喜びを感じとっていただけるように、寒い時期には鍋パーティーを実施しております。食事形態が違う方も鍋だとそのまま食べております。 | 旬の野菜や豊富な食材を使い、彩りよく食べやすい調理方法で利用者と一緒に食事作りをしている。季節感ある行事食や誕生会のケーキ、手打ち蕎麦など、職員は食べる楽しみを工夫している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量や栄養バランスを考慮し、その方の状況により、お粥やペースト食、刻み食を提供しております | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に声掛け、促しを行い、介助が必要な方は職員が行っております。必要に応じて訪問歯科の受診を促しています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ご本人の身体能力により個々に対応しております。尿意や便意がある方はその都度対応し排泄間隔や排泄パターンのある方は随時対応しております。 | 日中は多くの利用者がトイレで排泄している。自分のペースで排泄の動作を維持できるように、職員は表情や行動からも見守りながら声かけや誘導のタイミングを配慮している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘にならないように毎日室内運動や体操をしたり、食材の工夫を通じた予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 体調や気分をみながら希望の時間に心地よく入浴できるように支援している。流れ作業にならないように、自分で出来る場所をご自分で洗って頂いております。 | 職員は入浴習慣や同性介助などの要望を把握して週2回の入浴を支援している。福祉用具を用いたり、介助により安心して入浴できるようにしている。会話や歌などで気分転換できるように取り組んでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々の日中の活動量や体調、年齢など生活リズムを考慮しながら、居室の温度、湿度などに配慮し安心して眠れるように支援しております。眠れないときは寄り添い傾聴、飲み物の工夫等をしております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 個々の処方薬の目的・副作用・用法・用量を確認し正しく理解できるように努めております。処方薬が変更時は体調の変化の観察を行い、医療機関の受診につなげております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 年を重ねるごとに認知症が進んだり、気力が低下したりで楽しむ事や役割の場面を作れなくなってきている。見たりする事で活力がわいてくる場面づくりの工夫をしていきたい | | |

ほのかの里 桜丘

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価(事業所全体) | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | その日の天候具合や入居者様の体調をみながら日常的に散歩に出かけております。車椅子の方を入居者様が押してくれたり、共に支え出かけている支援をしております。ご家族がお祝いごとがあるたびに、外出されている方もおります。 | 散歩コースの栗山公園では桜や紅葉など季節の変化を楽しんでいる。恵庭や夕張へドライブ、法人合同夏祭りへの参加、大型店へ外食と外出レクは恒例となっている。ホーム前の東屋では短時間でも外気浴しながらお茶を飲むなど職員は工夫している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人の希望があれば支援していきたい。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 自ら連絡をとりたいと希望はないが、ご家族などから連絡があれば電話まで誘導し話していただくように支援しております | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は静かにゆったりと明るく居心地の良い空間作りに努めております。リビングから見える景色で季節の移り変わりを感じ、春になると小鳥が窓辺まできて、驚いたりすることもあります。 | 共有空間は広く、車椅子を操作できる十分な広さがある。リビングにある大きな窓からは外の景色が見え、天候や季節の変化を楽しみながら日々の会話となっている。ソファの好きな場所に座りテレビを見たり、食卓テーブルで作業するなど、居心地よいスペースとなっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食席やリビングの座る場所は決まった場所に座ることで落ち着いて過ごせる。各自の居室では休息したり、思い思いに過ごしております。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 私物の家具や衣類、家族の写真やカレンダーを張ったり、ご本人のこだわりの物をご家族が選んで持ってきてくれております | 使い慣れた筆筒や小物入れを置き、写真やカレンダーなどの作品を飾り居心地よい部屋作りを支援している。今までの生活習慣を大事にして衣類の整理など利用者や家族と相談して整えている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 各トイレ、浴室、廊下に手すりが設置されている。玄関には座れる長椅子や外にはスロープも設置されております。危険がないように物の配置に配慮しております。近くにある畑にもスロープを設置しております。 | | |

目標達成計画

事業所名 グループホームほのかの里桜丘

作成日：平成 30年 4月 9日

市町村受理日：平成 30年 4月 13日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|----------------------------------|--|--|------------|
| 1 | 4 | 運営推進委員会の開催後ご家族様に議事録を送っていない。 | 運営推進委員会開催後は必ず議事録を送り、ご家族様に送付し内容を理解して頂く。 | 議事録の送付を行ない、理解を深めながら運営推進委員会の参加を促す。 | 1年 |
| 2 | 4 | 運営推進委員の議題内容が薄く、内容がマンネリ化している。 | 運営推進委員会の議題の内容を少しでも興味を持てるように少しでもネットを通じて内容が持てるようにする。 | 運営推進委員会の開催日に合わせて事前にネットで調べて議題を準備する。 | 1年 |
| 3 | 10 | ご家族様の意見や要望など反映される書類がない。 | ご家族様の意見ノートを通じてご家族様と職員の間を密にする事で利用者様のサービスを向上する。 | ご家族様が来所した時や連絡した際にそのような意見や要望があった際は、記録として残す。 | 1年 |
| 4 | 35 | 避難訓練時の住民参加がない。 | 避難訓練時に住民参加を促し協力を求める。 | 避難訓練の開催日を事前に知らせて参加を促す。 | 1年 |
| 5 | 35 | 防災についての研修等が無い。スタッフの救急についての研修がない。 | 今後は避難訓練以外にも防災の研修を行い、職員一人一人が防災について意識を促す。 | 各棟でミーティングや研修を行い、防災についての理解を深めていく。 | 1年 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。